



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

### 宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)473

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/

編集・発行 (創刊平成15年2月)  
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

## トピックス「権利者会議について」

権利者会議とは、ほ場整備地区内の各地区等から選ばれた換地委員や評価委員が作成した換地計画について、全権利者が賛否を決める会議です。

換地計画は、工事によって、区画形状が整えられた田畑や道水路について、各権利者との協議合意に基づき、新たな地番や所有権等が記載された、権利者毎の明細書と、それらの合計となるほ場整備区域内の田畑等の面積等の総計を記載した明細で構成されています(換地計画書)。

権利者会議では、全権利者の2/3以上の賛成があれば、換地計画書が決定します。

当所でも平成15年度に2地区開催され、いずれも出席者全員の賛成で可決されています。



沢田地区権利者会議

担当：計画調整班

## ふるさと農道緊急整備事業「稲井地区」の開通式について



真野大橋での開通式の様子

石巻市稲井地区では、「ふるさと農道緊急整備事業」により真野川に新しい橋「真野大橋」が架けられ、平成16年10月24日に開通式が行われました。

真野大橋は、平成12年度に完成していましたが、橋と接続する農免道路については、ほ場整備事業にともない整備され、平成15年度に完成し、今年5月から供用が開始されていました。

地域の住民にとっては、この橋ができたことにより広域的な営農活動や生活活動の利便性が増しました。

### 稲井地区(石巻市)の概要

事業費：261,500(千円) 工期：平成11~12年

事業概要：橋梁工1ヶ所

担当：農村整備班

## 知っていますか？

### 農業農村整備部のホームページ・・・

農業農村整備部のページでは、石巻管内の事業概要や「ふるさと学習講座」、「田んぼの生きもの調査」の情報などを掲載しています。また、NN通信のバックナンバーも掲載しています。

アクセスは石巻地方振興事務所HP(<http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/>)から「各部のページ」、「農業農村整備部」をクリックしてください。

担当：計画調整班



Nougyou Nounon

# いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、農業農村整備事業に対する理解を得ることを目的に、年3回程度発行しております。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

## 大区画ほ場整備事業「大谷地地区」の完工について



第5号の目次:

大区画ほ場整備大谷地地区の完工について	1
ふるさと学習講座で生きもの調査	2
河南4期活性化委員会の取り組み	3
ため池の生態系調査	3
権利者会議について	4
ふるさと「稲井地区」の完工について	4

平成16年10月28日、県営ほ場整備事業大谷地地区の完工式及び完工記念碑除幕式が行われました。

大谷地地区(河北町、桃生町)は、平成4年度の事業採択から昨年度までの12年を費やし、受益面積約966haの大規模な事業の完了を迎えました。

この事業により、水田の大区画化・汎用化が図られ、集団転作等による農地の効率的利用や担い手への農地利用集積(H15実績58%)が推進し、水田農業の生産性向上や担い手の育成が一層図られており、今後、地域農業の活性化が期待されます。



大谷地地区の完工式

担当 農地整備第2班

### 大谷地地区の概要

受益面積 :966.2ha

総事業費 13,564,300(千円)

事業期間 平成4年度~平成15年度

事業内容 区画整理(966.2ha)

暗渠排水(955.8ha)

用水路工(113.0km)

排水路工(76.5km)等



大谷地地区全景

## 「ふるさと学習講座」で 田んぼの生きもの調査を実施



タイリク  
バラタナゴ

メダカ

ふるさと学習講座では、石巻地方振興事務所の職員が講師として出向き、地域の産業についての講義形式から、実際に現場に出て環境調査や生物調査を行う体験学習形式まで、ニーズに応じた様々な内容で行っております。

平成16年度は、下記の2地区で開催しました。本講座の前半に講義形式の学習を行い、後半に「田んぼの生きもの調査」を行いました。ここでは生きもの調査の内容結果について紹介します。

なお、これらの結果は、今後のほ場整備事業で、環境との調和に配慮するための基礎データとして活かされていきます。

### 1. 河北町大川地区



集合写真(大川)

平成16年7月24日(土)、「かほくジュニアカレッジ」の小学生23名が参加し、田んぼの生きもの調査を実施しました。調査の結果、下記のとおり、魚類が1種類、カエルが4種類確認することができました。絶滅が危惧されているメダカやトウキョウダルマガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル(いずれも準絶滅危惧種)が確認され、豊かな自然環境が保たれていることが分かりました。

色鮮やかなタイリクバラタナゴなど、様々な種類の魚がたくさん生息していることにあらためて気づき、子供たちだけでなく大人たちも驚いていました。

確認された魚種(1種類)

タイリクバラタナゴ、メダカ、コイ、ゲンゴロウブナ、ドジョウ、タモロコ、モツゴ、カネヒラ、トウヨシノボリ、オオクチバス、ハゼ科不明種

担当 農地整備第3班 計画調整班



魚の観察(大川)

### 2. 河北町三輪田地区



魚採りの様子(三輪田)

平成16年8月20日(金)、NPO法人まちづくり政策フォーラムの協力により、地元の小学生ら34名が参加し、田んぼの生きもの調査を実施しました。調査の結果、下記のとおり魚類が1種類、カエルが2種類確認することができました。絶滅の恐れのあるメダカも沢山生息していることが分かりました。

また、採った魚は、名前や見分け方が分かるようにNPOが作ったカードを参考にしながら分類を行いました。友達同士で協力して長さを測定したりカードと見比べて特徴を調べ、魚の種類を特定しました。子供たちは、田んぼにはいろんな動物がいることを、あらためて学んでいました。

確認された魚種(11種類)

メダカ、コイ、ニゴイ、フナ、ドジョウ、ヨシノボリ、ウキゴリ、ウグイ、アブラハヤ、オオクチバス、ナマズ

担当 計画調整班



魚の分類(三輪田)

## 河南4期地域活性化委員会の取り組みについて ～住民主体によるほ場整備を契機とした地域づくり～

### 「農村活性化ビジョン」の策定を目指して

河南町須江の欠館、茄子川集落では、3集落の代表者15名で構成される河南4期地域活性化委員会を平成15年度より組織し、この地域の将来のあり方や進むべき方向性、地域の活性化策等を取りまとめた「農村活性化ビジョン」の策定を目指し、活動を展開しています。

地域住民による地域住民の意向を十分に反映した活性化ビジョンを作成するため、昨年度はアンケート調査や集落点検などのワークショップなどの活動を展開してきました。本年度は、土地利用のゾーニングや集団転作のあり方、土地利用調整の方向、都市と農村の交流など、地域の特性に応じた具体的なビジョンの策定を、活性化委員会が主体となり検討を進めています。



活性化委員会の様子

### 「ふるさとふれあい市」の開催

平成16年1月2日(日)に、地域内で採れた野菜等を販売する「ふるさとふれあい市」が開催されました。当イベントは、地域に隣接する「しらさぎ台団地」との交流を促進するため、活性化委員会が自らの提案により企画し開催しました。

当日は晴天にも恵まれ、しらさぎ台団地の住民の半数程度の方々が訪れました。白菜、大根、トマト、レタスなど近所で採れた新鮮で安い野菜はとても好評でした。また、新潟中越地震被災者へのチャリティーとしての豚汁コーナーや、バクダンコーナー、抽選会を開催し、住民間の交流を図りました。

今回初めて開催したふれあい市でしたが、アンケート結果では、今後も継続して開催してほしいという回答が96%もあったことから、当委員会では、団地側と連携しつつ、来年以降も継続して開催する予定です。

担当 計画調整班



ふるさとふれあい市



ふるさとふれあい市

## ため池の生態系調査 ～矢本町木節沢ため池～

石巻地方振興事務所(水産漁港部、農業農村整備部、農業振興部)では、県内水面水産試験場、水産研究開発センター、矢本町、河南矢本土地改良区及び地元の大塩水利組合の協力により、矢本町大塩引沢の木節沢ため池(約1万㎡)の魚類生態系調査とブラックバスの駆除を行いました。

ブラックバス類の進入繁殖問題についてのこのような調査は、石巻管内で初めて実施されましたが、その結果、ブラックバスが94匹捕獲された一方、その他の魚類は40cmのコイが一匹のみしか捕獲されなかったことから、木節沢ため池におけるブラックバスによる生態系破壊の実体が明らかになりました。

担当 計画調整班



地引き網による  
ブラックバス捕獲の様子